

公立保育園の私立保育園への移行ガイドライン策定について（概要）

1 目的

ガイドラインは、「公立保育園の運営のあり方に関する方針〈改訂版〉」に基づく公立保育園の私立保育園への移行にあたり、基本的な事項を定めることにより、保護者の不安を解消し、円滑な移行を図るとともに、優良な事業者の参入を促し、安定的・継続的な保育園運営を確保することを目的として、移行園ごとに策定します。

2 保護者との意見交換

ガイドラインは移行園の保護者とともに作成することから、意見交換会を実施しました。

保護者の皆さんと忌憚のない意見交換を行いたいという思いから、保護者意見交換会の年間スケジュールを初回に示し、また、配布資料を開催の1週間前までに、要録を開催後1か月目途（次回開催まで）に配布しました。なお、「配布資料」及び「要録」は、保護者に直接配布するとともに、市ホームページにも掲載しています。

また、意見交換会に参加できない方からも後日意見募集を行い、また小平市保育園父母の会連絡会を通じたご意見も集約し、意見交換を行いました。

(1) 仲町保育園保護者意見交換会

令和2年度 1回 ※コロナ禍により複数回開催できず

令和3年度 3回

(2) 花小金井保育園保護者意見交換会

令和2年度 0回 ※コロナ禍により開催できず

令和3年度 3回

3 市内保育施設事業者へのアンケート調査

移行園（新園）の開設地について、「現地（現・保育園用地）」とするか「現地以外（現・保育園周辺）」とするか、保護者の皆さまと多くの時間を割いて意見交換を行ってきたところで、市内保育施設事業者のご意向も確認する必要があったことから、アンケート調査を実施しました。

アンケートは、13事業者（25事業者中）から回答があり、10事業者が「現地」を望むという結果でした。なお、参入の意向を示されたすべての事業者が、土地（市有地）の購入を希望しています。

4 今後のスケジュール

- ・令和4年3月18日（金） 子ども・子育て審議会にて意見聴取
- ・令和4年3月末 移行ガイドライン策定
当該園保護者にガイドライン配布
市ホームページに掲載

5 移行園（新園）移管先（建設地）

移管先のイメージ図は、裏面のとおりです。

(1) 仲町保育園

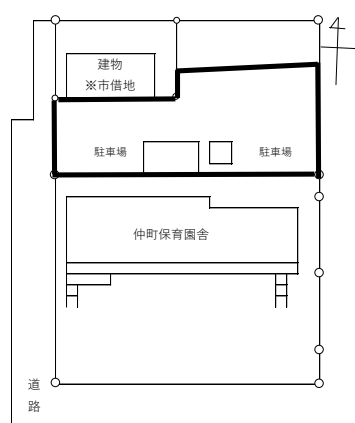
意見交換会やアンケート調査を通じ、「保護者」及び「市内保育施設事業者」から、「現地（現・保育園用地）」でのご要望が多く、また、少しでも広い敷地面積を確保してほしい(したい)というご意見が多くあり、検討の結果、図表1のとおり、仲町保育園北側市有地のおおむね800㎡を建設地としました。

しかしながら、現状、図表1は路地状敷地であるため、法令上、敷地面積を広げることができない状況です。市としては、できるだけご意見に沿えるよう、図表2のとおり、敷地面積を広げ、また、敷地形状を整えることで少しでも大きい園舎・園庭を整備したいと考え、現在、敷地内の施設所有者（行政財産使用許可（1年毎））と令和5年度以降は許可しない方向で協議中です。

【図表1】現・現地イメージ図

新園敷地面積：約800㎡

敷地形状：路地状敷地(敷地面積1,000㎡未満)



敷地面積 +100㎡

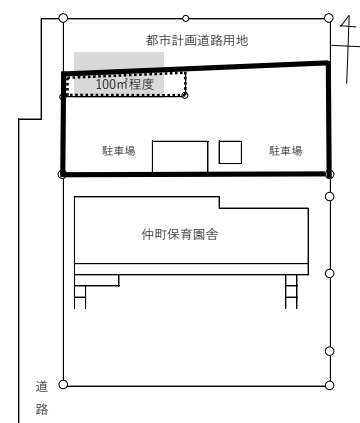
路地状敷地でなくなる

※図表太枠線内に移行園
(園舎+園庭)を整備します

【図表2】仮・現地イメージ図

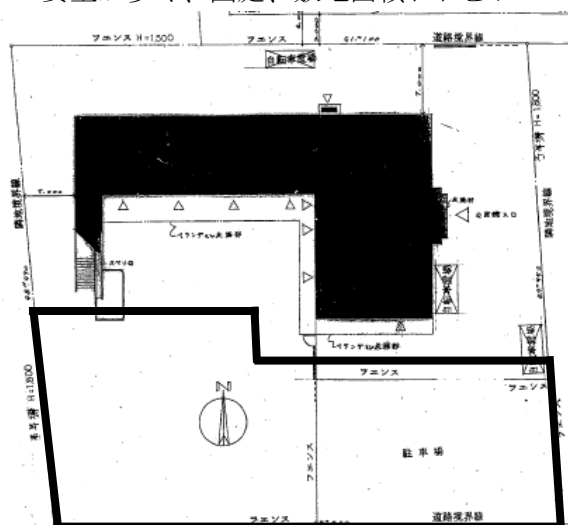
新園敷地面積：約900㎡

敷地形状：敷地面積制限なし



(2) 花小金井保育園

仲町保育園同様に、「保護者」及び「市内保育施設事業者」から、「現地（現・保育園用地）」でのご要望が多く、園庭、敷地面積おおむね810㎡を建設地としました。



新園敷地面積：約810㎡

※図表太枠線内に移行園(園舎+園庭)を整備します